

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

		事業番号	0240/350510/06/05	事業の種類	4	
年度	19	事務事業名	景気動向調査補助金	作成日	平成21年1月20日	
予算事業名	商工会議所振興補助事業補助金		担当部課名	産業振興課		
政策名	にぎわいと活気のあるまちづくり		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
施策名	商業・サービス業・観光					
根拠法規及び関連法規						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内の商工業者				
	誰(何)を対象として	商工会議所				
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内商工業者の経営状況を把握し、市の施策、企業の経営指導用資料として利用することを目的とする				

2 事業の概要 Do

実施の概要		対象事業所にアンケートを調査票を送付し、回答を分析し、報告書を作成する。事業費の半分を商工会議所に補助する。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	報告書の作成部数	部	400	400	400	0
	調査対象件数	件	829	824	818	0

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	-	-	
	主幹以下職員	0.010	0.010	100.0	0.010	100.0	-	-	
	臨時職員			-		-	-	-	
支出内訳	人件費	1,047,368	799,614	76.3	826,595	103.4	0	-	
	事業費	210,000	210,000	100.0	210,000	100.0	-	-	
	合計	1,257,368	1,009,614	80.3	1,036,595	102.7	0	-	
財源内訳	国庫支出金			-		-	-	-	
	県支出金			-		-	-	-	
	市債			-		-	-	-	
	その他			-		-	-	-	
	一般財源	1,257,368	1,009,614	80.3	1,036,595	102.7	0	-	
	合計	1,257,368	1,009,614	80.3	1,036,595	102.7	0	-	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		調査対象件数							
指標説明(式)		景気動向をはかるためのアンケート調査事業所件数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標	800	800	100.0	800	100.0	0	-	
	実績	829	824	99.4	818	99.3			
指標名2		調査の必要性							
指標説明(式)		本調査は、相生市の経済状況をはかる唯一の調査であり、市として事業の選択・政策の決定を行ううえで、欠かせないものである。							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	市内景気を調査することは、市内経済の動向を知る上で重要である。	4	4
有効性	上位施策への貢献度	市内の景気動向は、税収の予測、企業立地の方向性など行政運営にとって細かく知る上で重要である。	4	4
効率性	手段の最適性	商工会議所への補助金のため、市職員の人件費が少なく、最適な形での事業実施といえる。	3	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	補助金は、隔年としコストの節減を図る。
H19→H20予算反映額		△210千円

(2) 20年度の実施方針

平成20年度より隔年による補助とし、次回は21年度とする。

検討の有無	-
総合指標	21